

# 事業の仕分け 評価調査

基準日	平成21年 3月31日現在	(単位：千円)												
①事業名	展示館管理費(鴻臚館跡展示館)								事業開始年度	H7 年度				
②事業主体	福岡市								終了予定年度	年度				
③実施箇所	(全市)・ 区別 ( 中央 区)								⑤予算費目					
④所管課	教育委員会 文化財部 文化財管理課								会計	01一般会計				
	tel: 711-4666				fax: 733-5537				款	60教育費				
	mail: <a href="mailto:bunkazai.BES@city.fukuoka.lg.jp">bunkazai.BES@city.fukuoka.lg.jp</a>								項	35社会教育費				
⑥行政計画上の位置付け	総合計画								目	15文化財費				
	政策目標				政策目標2 個性と想像力に富んだ多彩な人材が育つまちとなる									
	施策事業体系													
	法律上の位置付け		法律 計画 名			左記の 規定内容								
他の行政計画での位置付け		法律 計画 名			左記の 規定内容									
⑦事業概要	時点	対象								将来達成したい状況				
	事業の目的 (事業開始時)	来館者								国指定文化財である鴻臚館跡を適切に保存し、広く一般公開することで、本市の歴史・文化の魅力発信や、文化財保護思想の普及、市民をはじめとする来館者の歴史・文化環境に対する満足度の向上を図る。				
	事業の目的 (現在)	同上								同上 今後も指定文化財の適切な保存管理を行い、一般公開する。				
	事業手法	これまでどおり、管理警備業務の委託と維持補修等の直営により指定文化財の安定的な保存管理を行い、一般公開する。												
	これまでの経過 及び 今後の全体計画	<p>昭和62年 平和台野球場外野席改修工事中発見 昭和63年～ 確認調査 平成16年 国指定文化財(史跡)に指定 平成5～7年 展示館、遺跡広場の整備 平成7年8月 完成、一般公開</p> <p>現在は、管理警備業務を外部委託し、9時から17時まで(12/29～1/3を除く)「鴻臚館跡展示館」を開館。また、調査事務所については、警備業を外部委託している。 今後も同様の手法で適切な保存管理を行い、来館者に本市の歴史・文化を感じさせる空間として提供していく。</p>												
	20年度 実施内容	管理・受付・清掃・警備等を外部委託により実施 設備・施設の維持補修を直営により実施 平成20年度入館者 23469人												
	21年度 実施内容	実施内容は前年度と同じ												
⑧年度計画	スケジュール		平成20年度				平成21年度				平成22年度(予定)			
			第一 四半期	第二 四半期	第三 四半期	第四 四半期	第一 四半期	第二 四半期	第三 四半期	第四 四半期	第一 四半期	第二 四半期	第三 四半期	第四 四半期
			受付、施設管理・清掃、警備等				受付、施設管理・清掃、警備等				受付、施設管理・清掃、警備等			
繁忙期	特に忙しい													
	忙しい													
	通常		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	非稼働・未実施期間													

⑨ 資源投入量	予算・決算	年度		総事業費	18年度決算		19年度決算		20年度決算見込		21年度予算	
		財源内容	事業費(正規・嘱託・臨時職員の人件費を除く)		-	8,559	8,657	8,211	8,352			
			うち委託費・報償費		-	7,847	7,998	7,472	7,503			
			特定財源	国庫・県支出金	-							
				市債	-							
				受益者負担分(使用料等)	-							
				その他	-							
	一般財源		-	8,559	8,657	8,211	8,352					
	一般財源 + 市債		-	8,559	8,657	8,211	8,352					
	人件費・投入業務量	正規職員	標準人件費		0.10	人	0.10	人	0.10	人		
7,600			千円	760	千円	760	千円	760	千円			
嘱託職員		標準人件費		0.00	人	0.00	人	0.00	人			
		3,200	千円		千円		千円		千円			
臨時職員		標準人件費		0.00	人	0.00	人	0.00	人			
		1,500	千円		千円		千円		千円			
職員数計			0.10	人	0.10	人	0.10	人				
減価償却費	職員1人当たり標準減価償却費	180	千円	18	千円	18	千円	18	千円			
庁舎維持管理費	職員1人当たり標準庁舎維持管理費	210	千円	21	千円	21	千円	21	千円			
事業のトータルコスト				9,358	千円	9,456	千円	9,010	千円	9,151	千円	

指標・名称		初期値	目指すべき目標値		18年度		19年度		20年度		21年度	
アウトプットに関する指標	入館者人数	設定なし	現状維持	目標	19244	人	19650	人	21848	人	23469	人
		(年度)	(平成 年度)	実績	19650	人	21848	人	23469	人		
			目標									
			実績									
アウトカムに関する指標	歴史・文化の環境に関する市民満足度	設定なし	設定なし	目標								
		(年度)	(平成 年度)	実績								
			目標									
			実績									

指標・名称		達成状況(20年度)	評価 A~D	目標の達成及び未達成の理由、今後必要となる努力・対策
アウトプットに関する指標	入館者人数	107%	B	集客交流の観点から、経済振興局と連携してPRを強化していく。
アウトカムに関する指標				歴史をはじめとした市民の文化力の向上

外部要因		事業実施の追い風となる外部環境		事業実施に支障となることが予測される外部環境	
⑩ 要因分析	外部要因	歴史に対する関心度が高くなっている中で、鴻臚館跡は確認されている唯一の史跡であり、歴史的資産価値が高い。また、福岡城跡と二重に史跡指定された他に例を見ない複合性を活かしてアピールすることが可能。			
	内部要因	事業名		関連内容	
		所管所属名		関連内容	

⑬ 事業内容のチェック	項目		評価 A~D	所管部署の現状分析・理由
	事業の必要性の視点	必需性 市民が社会生活を営むうえで必要不可欠なサービスか	D	
		公益性 サービスの提供により市民福祉が増大しているか	B	市民の本市の歴史・文化に対する関心や文化の向上に寄与している
	実施主体の視点	代替性 市以外(民間, NPO, 国, 県など)が同種のサービス提供の実施主体となっている事例がないか	C	
	共働の視点	共働 地域・企業・NPO等との連携し、共働できているか。役割分担が出来ているか	C	指定文化財(史跡)の整備には、専門的見地から整備計画や事業計画を決定する必要がある
	連携・効果性の視点	連携 市の他局・他部又は国・県との連携や役割分担が出来ているか	C	経済振興局や住宅都市局などとの連携が必要である。
	受益者負担の視点	受益者負担 受益者の負担の現状はどうなっているか	D	
	有効性・効率性の視点	対象者 事業の対象や働きかけの相手方等について効果的な絞り込みが出来ているか	B	指定文化財(史跡)として一般公開しているため、来館者・入場者全てが事業対象者となる。公開の対象を制限することはできない。
資源の有効活用 市が持っている社会資本・ストック(施設・調査資料等)を有効に活用しているか		B		
コスト 業績の実績と投入コストを比較し、コストに見合う成果を上げているか		B	市民共有の貴重な財産である国指定文化財の適切な保存管理に必要な最低限度の経費を投入している	
これ以上コストを下げるためにできることは何か。もしくは、同様のコストでより大きな成果を上げることが可能か				

⑭ 課題と今後の取り組みの方向性	
課題	今後の取り組みの方向性
適切な維持管理に必要な予算措置ができていない	予算の範囲内で市民と協働して事業を実施していく
	今後とも効率的な運営に努める

⑮ 事業に対する所管部署の総合評価		
必要性	分析・理由	
B	A 高い B C D 低い	国民の文化的向上に資するために文化財保護法により指定された文化財(史跡)である鴻臚館跡を、所有者である市が適切に管理する義務がある。

⑯ 今後の事業展開			
今後の方向性	予想される今後の展開	事業終了の条件	
II	I 拡充・継続 II 要改善 III 国/県/広域 IV 民間 V 廃止・縮小	現在は、遺跡を覆っただけの仮の展示施設であり、恒久的な展示・交流・体験施設の整備が必要である。 定期的なリニューアルおよび建築物劣化定期点検に伴う対応を行う必要がある。 関連施設等とのネットワークの構築による回遊性の確保など 集客交流部門との連携。	文化財指定の解除